サポーター名《認定No.45》	日本工営株式会社
ホームページ	https://www.n-koei.co.jp/

サポート対象地域					
青森県内	岩手県内	宮城県内	秋田県内	山形県内	福島県内
○	○	○	○	○	○
その他					

サポート方法	対面による支援	電話による支援	メールによる支援	Web会議システム	その他の方法
	○	○	○	Teams・ZOOM	

当該サポーターのサポート対象技術	特記事項
[No.16] Web会議システムやASP、ウェアラブルカメラ等を活用した遠隔臨場	
[No.18] BIM/CIM（3次元モデリング）	
[No.19] 関係者間協議等へのxR（VR/AR/MR）技術の活用	
[No.29] 画像処理技術を活用した施設や構造物の点検	

支援にあたってのPR（ひと言）	【技術16】 国土交通省が策定している遠隔臨場に関する試行要領（案）および監督・検査試行要領（案）を基に、遠隔臨場の目的や活用等の基本事項、機器等の活用方法、手続きに必要な様式やその記載例を整理した「遠隔臨場実施マニュアル（素案）」を作成した実績があり、遠隔臨場の概要や導入支援（機器導入、活用、必要様式作成等）の遠隔臨場全般に関する支援が可能です。 【技術18】 道路予備設計において、道路土工部を3次元モデル化しました。「LandXML1.2に準じた3次元設計データ交換標準の運用ガイドライン（案）[H31.3]」に示す3次元設計データ（スケルトンモデル）、3次元設計データ（サーフェスモデル）及び測量成果の3次元点群データから作成する地形サーフェスモデルを構築しました。 【技術19】 国土交通省が推進しているi-construction推進の一環として、MRデバイス(HoloLens2)を用いた「遠隔臨場」及び、「CIMモデルの現場投影」を実施し、実施効果・課題を整理しました。また、現地状況や設計物の説明に「遠隔臨場」及び、「CIMモデルの現場投影」を活用し、事務所と現場間で協議を実施した実績があります。MRデバイスを使用した「遠隔臨場」及び、「CIMモデルの現場投影」について、機器導入～活用まで支援可能です。 【技術29】 サンプリングモアレカメラ(技術番号BR030002-V0020)を用い、橋梁の点検部位をカメラで撮影することで、桁のたわみ量、支承の変位量又はその変化を定期的に測定し、変化の有無を確認しました。支承部の機能障害や遊間異常の検出、活荷重たわみの検出が可能です。

担当者1	氏名	山田卓	特記事項	(No.16)	
	電話番号	022-227-3527		メルアドレス	a4308@n-koei.co.jp
担当者2	氏名	角力山柊	特記事項	(No.18)	
	電話番号	022-706-2639		メルアドレス	a9542@n-koei.co.jp
担当者3	氏名	宮本祐成	特記事項	(No.19)	
	電話番号	022-227-3527		メルアドレス	a9217@n-koei.co.jp
担当者4	氏名	橋口健一	特記事項	(No.29)	
	電話番号	022-706-2639		メルアドレス	a6820@n-koei.co.jp
担当者5	氏名		特記事項		
	電話番号			メルアドレス	